

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|      |              |
|------|--------------|
| 学校名  | 宮崎公立大学       |
| 設置者名 | 公立大学法人宮崎公立大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|  |  |
|--|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>   |  |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>F D部会において「宮崎公立大学のシラバス作成のためのガイドライン」を作成している。ガイドラインでは、カリキュラムの中の位置づけや他の科目との関連性、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準、講義計画及び課題など、シラバスに記載しなければならない項目の記載内容や記載方法等について詳しく説明している。学部長は、開講年度の前年度1月頃に、教員に対して、ガイドラインに基づいてシラバスを作成するように依頼する。教員は、2月末頃までにシラバスを作成し、専攻長等によるチェックの後、事務局によりシステムにて新年度開始までに公表する。</p>  |  |
| <p>授業計画書の公表方法</p>  | <p>・ホームページ：<br/> <a href="https://www.miyazaki-mu.ac.jp/university/futankeigen.html">https://www.miyazaki-mu.ac.jp/university/futankeigen.html</a></p> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>  |  |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学の単位授与又は履修認定については、「宮崎公立大学の教育課程等を定める規程」において定めており、「学生要覧」に記載して学生に配付し、学期の初めに学年ごとに実施するガイダンスにおいて周知している。</p> <p>成績評価の方法・基準については、「宮崎公立大学の成績評価方法及び基準に関するガイドライン」を定めており、「教務ハンドブック」等に記載して教員に配付し、周知している。教員は、「宮崎公立大学の成績評価方法及び基準に関するガイドライン」に基づき、シラバスにおいて、成績評価の方法・基準を明確に示して、成績評価を行っている。</p> <p>また、定期試験の実施にあたっては、試験実施前に「定期試験実施要領」を教員に配付し、実施の手続き、試験実施の際の留意事項、試験結果の処理等を周知し、学生に対しても、試験実施前に、学内での掲示等により、試験に係る注意事項や試験結果の通知等について周知して、試験及び成績評価の厳格かつ適正な実施に努めている。</p> |  |

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績は、100点満点の素点による5段階評価又は合否評価にて行い、その評語は以下の表のように分類している。

(表)成績の評語と内容 ※(5)…5段階評価科目、(合否)…合否評価科目

| 評語 | 評価点    | 評価基準                           |     |
|----|--------|--------------------------------|-----|
| S  | 100-90 | (5)到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている   | 合格  |
| A  | 89-80  | (5)到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている       |     |
| B  | 79-70  | (5)到達目標を達成している                 |     |
| C  | 69-60  | (5)到達目標を最低限達成している              |     |
| P  |        | (合否)到達目標を達成している                |     |
| D  | (5)59- | 到達目標を達成していない                   | 不合格 |
| X  |        | 試験欠席                           |     |
| N  |        | 失格(出席不足等により試験受験資格がない)          |     |
| R  |        | 認定単位(編入学時の認定、コンソーシアム等で修得した単位等) | 認定  |

授業科目に対して、上記評価点の他にG P (=Grade Point)を付与する制度を導入している。それぞれの対象科目のG Pに当該科目の単位数を乗じた値を、対象科目の単位総数で除した平均値(G P A=Grade Point Average)を算出する。G P Aには不合格の科目も加算される。本学のG Pは、評価点から55の値を引く方式を採用しており、G Pの算出方法は、以下のとおりである。

$$G P = (\text{評価点} - 55) / 10 \quad \text{ただし、} G P < 0.5 \text{ のとき、} G P = 0.0$$

算出方法については、ホームページ及び「学生要覧」にて公表している。

また、G P Aは目的別に、t G P A (Total GPA)とs G P A (Specialized GPA)という2つの制度がある。t G P Aは、卒業要件科目全てを対象として評価値を算出する。s G P Aは、専門課程の科目のみを対象として評価値を算出する。G P Aは、席次判定(学生表彰制度や奨学金の受給可否)、3年次から所属する専攻の決定および「専門演習」の決定に利用している。

各G P Aについては、学年ごと及び通算の値を、学生個人のポータルサイト上で確認することができる。

教員は、シラバスに記載している「到達目標」に基づき、同じくシラバスに記載している「評価方法」により、成績評価を行っている。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

・ホームページ：  
<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/education/session.html>

|   |  |
|---|--|
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>宮崎公立大学は、建学の理念とリベラル・アーツ教育に基づいて、人材育成目標である「教養あるグローバル人材」を育成します。「教養あるグローバル人材」育成のための教育課程を修め教育目標を達成した者に学士(人文学)の学位を授与します。</p> <p>「人材育成目標」</p> <p>国際的な視野、幅広い知識と確かな専門性、言語によるコミュニケーション能力を備えた上で、人間文化の現代的課題を探究でき、グローバル化する世界で多様な人々とともに主体的に活動できる人材を育成します。</p> <p>「教育目標」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的な問題解決能力<br/>創造的な問題解決能力とは、必要な情報を処理する技能を備え、根拠に基づいて論理的に考え表現することができ、そして問題を発見解決するための新しいアイデアや価値を生み出せる能力です。</li> <li>・コミュニケーション能力<br/>コミュニケーション能力とは、日本語と英語を用いて、自由で対等なコミュニケーションを取ることで他者と協力できる能力です。</li> <li>・異文化理解対応力<br/>異文化理解対応力とは、グローバル化する世界の多文化状況を理解し、その中で主体的に判断し行動することができるようになることです。</li> </ul> <p>ディプロマ・ポリシーに沿った学修成果を修め、卒業要件を満たした者について、教授会の審議を経て、学長が卒業を認定している。</p> |  |
| <p>卒業の認定に関する<br/>方針の公表方法</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ：<br/><a href="https://www.miyazaki-mu.ac.jp/education/policy_2017.html">https://www.miyazaki-mu.ac.jp/education/policy_2017.html</a></li> <li>・刊行物等：<br/>大学案内・入学者選抜要項（郵送または窓口配付）</li> </ul> |